ケロケロ通信 第4号

♡ イネかりが始まりました

このごろ学校から帰っていると、田んぼでお父さん達がイネかりをしています。モンモンもいつもいっしょです。でも、モンモンは、じゃまばかりしています。お父さんがイネをかっている時に、イネの中を歩きまわって、コンバインの前を横切ったりしてたいへんあぶないそうです。それは、コンバインに追われて野ネズミが出てくるので、それをつかまえようとしているそうです。

"モンモンちゃん"

♡ イモほり

17日の日曜日、私とお父さんと、弟の3人でさつまイモをほりに行きました。このごろは、天気のよい日がずっと続いていたので土がとってもかたくて、ほるのがたいへんでした。丸いのや長細いのなど色々な形のイモが、出てきました。イモは、大きいカゴがいっぱいになったので、半分だけ残してやめました。

イモのつるは、カモのエサにするので、みみずといっしょに、もって帰りました。

★ 鴨料理公開講座のお知らせ。

11月28日に折尾の福原学園で、鴨料理講習会を計画しています。会場の都合で、申し込み先着100名となっています。また、材料費/

お父さんのコーナー

↙として1500～2000円程度の参加費が必要です。主催は"ふくおか合鴨水稲会"（私が会長をしています）です。よかったら参加してみませんか。

★ 大凶作、イモチ病大発生！

戦後最悪の凶作と言われるだけに、誰の話しを聞いてもさすがに今年の作柄は悪いようですが、実はこんな年は農薬の使用量もぐんと増えているのです。

減農薬運動がすっかり定着したここ遠賀郡でも、普段の年なら、除草剤と病虫害の本田防除2～3回で済んでいるのですが、今年ばかりはこの外に2～3回の防除が追加されたようです。育苗期間中にも4回程かけますので、都合8～10回の防除ということになります。ところが、農薬の多くは、農薬散布の手間を省くために、単剤ではなく、3～4種類の農薬を混ぜ合わせた混合剤になっている物が多く、使われた農薬の種類で数えると、なんと20～30回農薬散布した勘定になります。これが日本中で行われたものだから、農薬メーカーの在庫が尽きて、一時はパニックになる程だったそうです。

今年産の一般の米が、どれだけ農薬まみれになっているかが理解できると思います。

その点、我家の米はこのような農薬は勿論、肥料も含めて化学物質は（4年以上）一切使用していませんので、安心して食べて下さい。

編集 5年 前田 泉紀 10月22日 093(293)2975